

と も に つ く る く ら し と ま な び

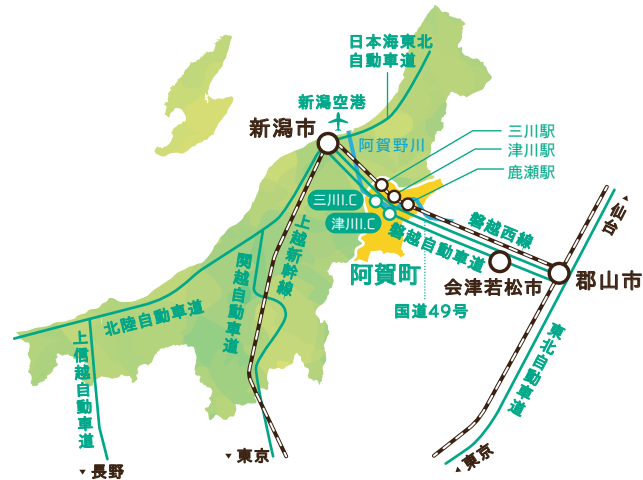
阿賀町と阿賀黎明高校

新潟県東蒲原郡阿賀町津川。
かつては会津藩の河港として栄え、航路と陸路の結節点として人と人が出会い、つながりました。

よく晴れた朝など一面に川霧が立ち込めるこの地では、糴や味噌、酒などの発酵文化が花開き、豊かな自然と共に暮らしをつくってきました。

阿賀黎明高校は、令和 2 年よりコミュニティスクールに指定され学校運営協議会が設置されています。

「総合的な探究の時間」や「地域学」等の授業、文化祭や体育祭において、地域の方が参加・参画したまなびの機会づくりを進めています。
この町とこの学校で、暮らしとまなびをともに作りませんか。



アクセス

東京から阿賀黎明高校まで

※所要時間はおおよその時間です。

公共交通 3時間30分	東京駅(新幹線) ▶ 新潟駅(在来線 / 信越線) ▶ 新津駅(磐越西線) ▶ 津川駅(津川駅より車で5分)
自家用車 4時間10分	東京・練馬IC(関越道経由もしくは東北道経由) ▶ 磐越道津川IC(磐越道津川ICより車で5分)

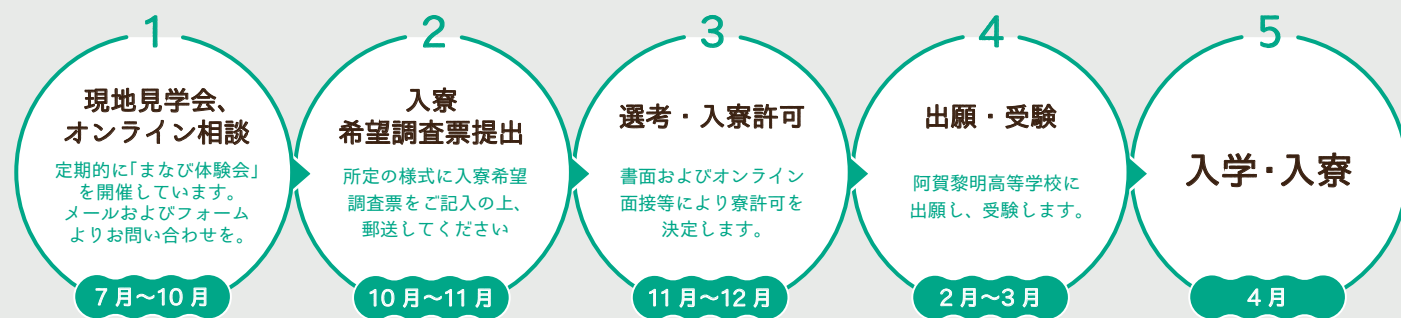


「カヌー体験で阿賀町の自然の魅力を伝える」など、地域を舞台に各人が企画したプロジェクトを実践する「総合的な探究の時間」に取り組みます。



放課後、黎明学舎で学習する生徒の様子です。
一斉授業ではなく生徒の進度に合わせて学習支援を受けることができます。

お申し込みの流れ



緑泉寮 寮費等

月額 40,000 円 / 食費(休日を含む3食)及び水道光熱費含む

- 月額 80,000 円のうち、半額を町が補助しますので各家庭の負担額は 40,000 円となります。
- 閉寮期間(夏休み・お盆期間中の7日間程度および年末年始6日間程度)

公営塾 黎明学舎 月謝等

月額 5,000 円 月～金 16:00～20:30 まで(定期テスト前は土日開放あり)

※ 但し、「新潟県高等学校等就学支援金制度(授業料無償化制度)」の対象世帯は、減免制度があります。

- 平成 28 年にスタートした町営の学びの場です。
多彩な講師による学習支援と、地域とコラボした探究支援を行っています。

阿賀町教育委員会 学校教育課

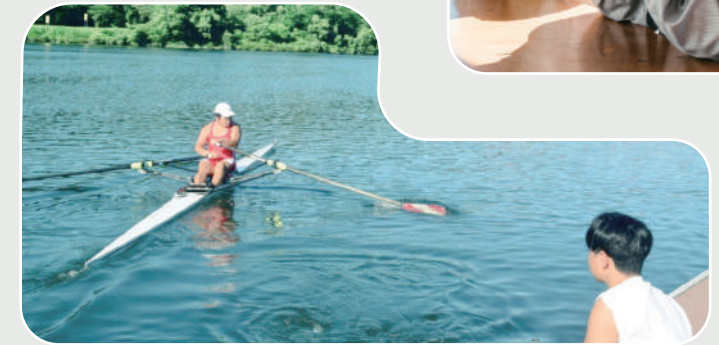
〒959-4302
新潟県東蒲原郡阿賀町鹿瀬 8931-1
Mail : gakkokyo@town.aga.lg.jp
Tel : 0254-92-2561

阿賀町まなびの森交流館 緑泉寮

〒959-4409
新潟県東蒲原郡阿賀町京ノ瀬 4851
Mail : agareimei.mirai@gmail.com
Tel : 0254-92-5460

阿賀町公営塾 黎明学舎

〒959-4402
新潟県東蒲原郡阿賀町津川 426-3
Mail : reimeigakusya@gmail.com
Tel : 0254-92-7724



新潟県阿賀町 教育留学 制度

AGAMACHI
MANABI CYCLE
SPA&STAY&SCHOOL

新潟県立阿賀黎明高等学校 × 阿賀町

と も に つ く る く ら し と ま な び



四季がめぐる



中学生のみなさんへ

阿賀町は人口約9,600人、雄大な阿賀野川と森に恵まれた山あいの小さな町です。
「緑泉寮」は、高校3年間で阿賀町で暮らすことを希望する阿賀黎明高校生が共同生活する寮です。

ここは単なる生活の場ではなく、寮生同士や地域の大人が知恵と力を合わせて暮らしを楽しむことを大切にしています。

冬の積雪が最大1m50cmほどになる四季折々の豊かな景色の中の暮らしにはたくさんの発見と学びがあるでしょう。

寮生やハウスマスター、町の人や観光客たちと「ともにつくる」3年間を過ごしませんか。



緑泉寮で大切にしていること | 暮らしを楽しむ ともにつくる



1日の生活モデル

0:00	6:00	7:40	8:20	8:25	15:30	15:50	19:00	20:00	20:45	21:00	23:00
	起床	バス 出発	学校 着	学校	学校 終了	部活 動等	夕食	ミー ティング	清掃	自由 時間	消 灯

施設について

- ・ 2人1部屋（本棚仕切り）
- ・ トイレ共同
- ・ 温泉利用可
- ・ シャワー室あり
- ・ 洗濯スペース
- ・ ミニキッチン付き共同スペース
- ・ Wifi 利用可（5時～23時）

緑楽寮では「ともにつくる」を大切に、日々の暮らしを創造していきたくと考えています。そのための時間が「緑楽寮のつくりかたミーティング」です。週1回程度、暮らしやこれからのことを寮生が主体となって意見交換を行います。



「あなた × 阿賀町」って？
きつと正解はないと思います。
だからこそ私たちは皆さん
と日々新たな実験をして
振り返りながら、ともに変化
をしていきたいと思っています。
めぐる四季の中で阿賀町
の暮らしを一緒に楽しみ
ましょう。



私の休日の楽しみは町の食材を使ってお菓子や料理を作ることです。自分の「好き」に没頭したり、探したり。四季の移ろいをダイレクトに感じられる阿賀町で、一緒に暮らしてそんな日々を日常にしませんか。